

子どもたちの頑張る姿に金メダル

10月26日の運動会は、心配された天候も、雨が南っ子の気合いにおじけづいたのか、中断することもなくすべてのプログラムを終えることができました。児童の力いっぱい姿に感動をもらいました。そして本当に自慢できる子どもたちです。保護者・地域の皆様には、運動会実施にあたり多岐にわたりご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。

優勝する組は一つしかありませんが、それに向かって力を合わせて、一緒に喜んだり悔しがったりする気持ちや、自分の中で目標をきめて努力し結果を出したり、またライバルと競ったりする経験は、大きく子どもたちの心を揺さぶり成長させます。これからも自慢の南っ子に大きく期待しています。



カンボジアからのお客様

10月16日には、カンボジアの「くっくま孤児院」の子どもたち19人とスタッフの皆さんが本校にやってきました。校区にお住いの方がこの孤児院を支援されていることから、本校にご縁をいただきました。くっくま孤児院の子どもたちは、様々な事情で親と離れて住んでいますが、孤児院から小学校に通い、孤児院では寮母さんが日本人であることから日本語を学びながら、ダンスや音楽の練習に励んでいるそうです。コロナ禍も終わり、今年は、来日公演が実現し、日本の小学校と交流することになりました。3時間目は、体育館で、伝統舞踊やかっこいい現代風のダンス、南中ソーランを披露いただきました。数都市で公演をされるだけあり、圧巻のパフォーマンスでした。本校からは、金管バンドが素晴らしい演奏をお返ししました。一緒に南中ソーランを踊ったり、金管バンドの演奏と一緒に歌ったりすることができました。4時間目は、各学級・学年に分かれて交流しました。自己紹介のあとは、一緒に授業をする学年、折り紙をする学級、レクリエーションをする学級と様々でしたが、打ち解けるのが本当に早いですね。互いの国の歴史や文化を理解し、尊重できる関係が築かれることを願います。

これからの社会で求められる学力とは～全国学力・学習状況調査質問紙結果より～

秋の夕べはつるべ落としと言われるように、気付くと急に秋らしい気候となりました。秋の夜長は、読書や学習に最適です。家庭では、すすんで学習ができているでしょうか。

さて、過日、4月に行った全国学力学習状況調査の結果が公表され、本校においてもその結果から、これからの社会を生き抜くために、南っ子に必要な力を分析しています。いくつかの結果をお知らせいたしますので、ご家庭でも話題にしていたいただければ幸いです。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が多かったもの(全国・県平均比較)

○将来の夢や目標をもっていますか。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

○困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 ○人の役に立つ人間になりたいと思います。

「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」の回答が多かったもの(全国・県平均比較)

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 ○新聞を読んでいますか。

○自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しましたか。

○算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。

○算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか。

○自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見いだしたりすることがあります。

その他

○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾、家庭教師、インターネット学習を含む)

※全国・県平均と比較して、1時間以上の回答が少なく、1時間以内の回答が多い。

南っ子は、規範意識を高くもちまっすぐに育っていることに安心します。ご家庭で愛情深く育てられている結果だと言えます。

一方、自ら問題や課題を見出し解決したり、話し合う中で新たな思考に気付いたり、人にわかるように伝えたりする社会に出てからも必要とされる力をさらに身に付けていく必要があるように思います。また、学習したことを生活に生かす力も、今後さらに求められます。

「みたり聞いたり試したり、なかまとのびるみんな元気な南っ子」を目指していきたいと思ひます。

心をつなぐ集会「人権作文発表会」

11月8日(金)、心をつなぐ集会『人権作文発表会』を行いました。全員が体育館に集まり、各学年の代表1名ずつの発表を聞きました。家族のことや友達のこと、言葉や平和について学習したことなど、日々の生活のなかで感じることを問いかけることができました。